



命令書



114
A2953

管第九四二号

命令書

大坂市北區堂島船大工町百二十五番邸

大東汽船合資會社



第一條 其會社ハ明治三十一年九月一日ヨリ同三十六

年六月三十日ニ至ル四箇年十箇月間郵便物及旅客貨

物運搬ノ為メ本命令書ニ定ムル航行ニ從事スルニ

第二條 其會社ノ從事スル航行ハ左ノ如シ

一 上海蘇州線 本線ニ於テハ上海蘇州間ヲ航行ス

ル

二 上海杭州線 本線ニ於テハ上海杭州間ノ航行ス

ル但嘉善嘉興ニ停船スルコトヲ得

第三條 第二條ニ記載スル各線路ニ使用スル船舶並ニ

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

航行度数ハ左ノ如シ

一 上海蘇州線

本線ニハ総噸數八噸以上平均速力

一時間五海里以上ノ引船用汽船三艘及總噸數拾

五噸以上ノ被曳船用船舶三艘ヲ用井毎月二十五

回以上上海蘇州双方ヲ發船ヤシムヘシ

二 上海杭州線

本線ニハ總噸數八噸以上平均速力

一時間五海里以上ノ引船用汽船四艘及總噸數拾

五噸以上ノ被曳船用船舶三艘ヲ用井毎月十回以

上上海杭州双方ヲ發船ヤシムヘシ但本線ハ通信

大臣ノ認可ヲ受ケ開始後一ヶ月間ハ其設備船數

ヲ減シ航行度数ヲ四回迄ニ減スルコトヲ得此場

合ニハ減少ノ度数ニ應シ第二十五條第二項ノ割

合ニ依リ補助金額ヲ減スルモノトス

前二項ノ汽船ニ付テハ總噸數七拾噸ヲ下ルコトヲ得

第四條

其會社ハ第三條ノ船舶ヲ定メ豫メ通信大臣ノ

認可ヲ受クヘシ其之ノ変更セントスル場合亦同シ

前項ノ船舶ハ其會社ノ所有ニ專屬シ本命令書實施ノ

日ニ於ケル船齡五年未滿ニシテ檢査官吏ノ檢査ニ合

格シタル船舶ニ限ル

通信大臣ハ檢査官吏ヲシテ隨時第一項ノ船舶ヲ檢査

セシメ其状況ニ依リ修繕ヲ命ジ若クハ認可ヲ取消ス

コトアルヘシ此場合ニ於テハ其會社ハ通信大臣ノ指

定スル期間内ニ於テ修繕ヲ加ヘ若クハ通信大臣ノ認

可ヲ受ケ相当代船ヲ以テ之ヲ補充スヘシ

其會社ニ於テ第一項ノ船舶ヲ喪失若クハ破損シ又ハ

該船舶ニ修繕ヲ要スルトキ亦同シ

第五條 其會社ハ本命令書ニ規定スル業務ヲ實

前十四日ニ於テ各線路ニ於テ於着日時表ヲ調製シ

テ逓信大臣ノ認可ヲ受クヘシ但其変更ヲ為サントス

ルトキハ少クモ二週日前ニ届出逓信大臣ノ認可ヲ受

クヘシ

逓信大臣ハ公益上必要ト認ムルトキハ前項ノ發着日

時表ヲ変更セシムルコトアルヘシ

第六條 其會社ハ第三條ノ船舶ヲ以テ運搬スル旅客貨

物ニ對シ徵收スル運賃表ヲ調製シ豫メ逓信大臣ニ届

出ヘシ其之ヲ変更セントスル場合亦同シ

逓信大臣ハ公益上必要ト認ムルトキハ時限並ニ品名

ヲ指定シテ前項ノ運賃定額ヲ低減セシムルコトアル

ヘシ

第七條 第三條ノ船舶第二條ノ線路ニ於テ各港ニ到

着シタトトハ帝國領事館ニ届出發着証明ヲ受クヘ

シ

第八條 第三條ノ船舶ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケタル

航海日誌ヲ備へ船長ヲシテ必要ノ事項ヲ記載セシメ

一箇月毎ニ其要領ヲ記シ第七條ノ發着証明書ヲ添へ

逓信大臣ニ差出し其檢閲ヲ受クヘシ

第九條 其會社ハ第三條ノ船舶ヲ以テ逓信大臣ノ規定

スル手續ニ依リ第二條ノ各線路ニ於テ郵便物ヲ無

賃ニテ運送スヘシ

前條ニ於テ郵便物ト稱スルハ郵便條例小包郵便法郵

便條例其他將來發布ニ係ル法律命令ニ依リ郵便物ト

取扱フモノ及其運搬ニ要スル諸器具ヲ謂フ以下
郵便物ト称スル亦同シ

第十條 逋信大臣ハ第三條ノ船舶ニ郵便吏員ヲ乗船セ
ルルコトアルヘシ

前項ノ郵便吏員ニハ無賃ニテ相当ノ食料ヲ供スヘシ
其待遇ハ上等船客ニ準スヘシ

第十一條 第三條ノ船舶ニ積載スル郵便物ハ盜難濕氣
火災其他一切損害ノ虞ナキ安全ナル場所ヲ擇ヒ

害ノ豫防上適當ノ装置ヲ施シ藏置スヘシ
前項ニ要スル費用ハ總テ其會社ノ負担トス

第十二條 總テ逋送ヲ命セラルル郵便物ハ郵便吏員
乗船スルトキハ該吏員乗船セラルトキハ本船ノ船長
若クハ事務員之ヲ取扱フ為スヘシ

第十一條 其會社ハ逋信大臣ノ逋送ヲ命シタルモノ
外他ノ信書ヲ逋送スヘカラス

第十四條 郵便物ノ逋送並ニ各寄港地ニ於ケル郵便物
船積陸揚ニ關スル費用ハ其會社ノ負担トス

第十五條 其會社ハ逋送中ナル船舶積又ハ陸揚中ナル
トク問ハズ郵便物ヲ紛失毀損セシメタルトキハ其責
ニ任スヘシ

前項ノ損害ハ郵便吏員乗船ノ場合ト雖モ天災又ハ該
吏員ノ過失ニ出テタル場合ノ外總テ其會社ノ責任ト
ス

第十六條 其會社ハ第二條ノ各線路ニ於ケル支店若ク
ハ代理店ニ端艇ヲ備ヘ郵便物陸揚船積ノ用ニ供スヘ
シ

第十七條 第三條ノ汽船航行中遭難其他ノ事故ニ依リ郵便物ヲ運送スル能ハサルトキハ適當ノ方法ニ依リ會社ノ費用ヲ以テ之ヲ運送スヘシ

第十八條 其會社ニ於テ郵便物運送ノ命令ニ違背シ通信大臣他ノ船舶ヲ以テ該郵便物ヲ運送セシメタルニ因リ生シタル費用ハ其會社ノ負担トス

第十九條 第三條ノ汽船ハ常ニ帝國々旗及郵便旗章ヲ掲揚スヘシ

第二十條 其會社ハ第二條ノ線路ニ於ケル寄港地ニ支店又ハ代理店ヲ設置スヘシ前項ノ支店ニ使用スル事務員及各船舶ノ船長機関士及事務員ハ通信大臣ノ認可ヲ得ルニアラサレハ外國人ヲ使用スヘカラス但死亡其他止ヲ得サル事故ニ依

本項ノ船舶乗組員ニ缺員ヲ生シタルトキハ該地帝國領事館ノ公認ヲ經テ外國人ヲ以テ之ヲ補フコトヲ得此場合ニ於テハ直ニ通信大臣ノ追認ヲ請フヘシ其一項ニ掲ケル代理店ヲ設ケンストキハ其店名所在地名及該店業務担当者ノ國籍並ニ氏名ヲ通信大臣ニ具申シ認可ヲ受クヘシ変更ノ場合亦同シ通信大臣ハ支店ノ事務員及各船舶ノ船長機関士事務員ニシテ事務取扱上怠慢懈怠其他ノ失行アリト認ムルトキハ其交代ヲ命スルコトアルヘシ通信大臣ハ代理店ノ業務担当者前項ニ該當スル所為アリト認ムルトキハ代理店ノ変更ヲ命スルコトアルヘシ

第二十一條 第三條ノ船舶ハ旅客積卸ノ為ノ必要ナル

トキハ發着日時表ニ掲ケタル停船地、外他ノ場所ニ
停船スルコトヲ得但發着日時表ニ掲クル日時ヲ変更
スルコトヲ得ス

第二十二條 逋信大臣ハ本命令書有効期限内公益上必
要ト認ムルトキハ相当ノ使用料ヲ補償シテ第三條ノ
船舶ヲ使用スルコトアルヘシ其會社ニ於テ逋信大臣
ノ發スル使用ノ命令ニ應セズ他ノ方法ヲ以テ公用ヲ
便シタルニ因テ生スル費用及損害ハ其會社之ヲ弁償
スヘシ

船舶使用ノ場合ニ於テ逋信大臣ハ實費ヲ支給シテ船
内ノ構造ヲ変更セシムルコトアルヘシ
前項ノ使用ニ依 損害ヲ生シタルトキハ逋信大臣其
事由ヲ查覈シテ相当ノ金額ヲ補償スヘシ但其會社又

ハ未組員ノ過失ニ出テタルモノハ此限リニアラス

第二十三條 第三條ノ各船舶ニハ逋信大臣ノ定ムル法
式ニ依リ調製シ其檢印ヲ受ケタル申告簿ヲ備フヘシ
申告簿ハ船長之ヲ保管シ乗客ノ請求アルトキハ何時
ニテモ之ヲ提出スヘシ

船中見場キ所ニ申告簿保管者ノ姓名ヲ記載シ旅客ノ
請求ニ應シ之ヲ提出スル旨ヲ揭示スヘシ

第二十四條 逋信大臣ハ當該官吏ノ檢閲ヲ受クヘシ
申告簿ハ三箇月毎ニ當該官吏ノ派遣シ第二條ノ各

線路ニ於ケル業務ヲ視察セシムルコトアルヘシ
前項ノ官吏本支店代理店又ハ船舶ニ臨檢スルトキハ其質

問ニ應シ業務上一切ノ事項ノ開申シ帳簿ヲ檢閲ニ供スヘシ
第二十五條 逋信大臣ハ本命令書有効期限内左ノ割合

ヲ以テ航行補助金ヲ支給スヘシ

一 上海蘆州線 年額金壹万七千六百七拾貳圓叁拾九錢

二 上海杭州線 年額金壹万貳千五百。六四六拾壹錢

前項ノ補助金ハ壹箇月毎ニ終了シタル航行ニ對シ年

額十二分ノ一ヲ支給スヘシ但第三條ニ規定スル航行

度数ヲ減シタルトキハ上海蘆州線ニ於テハ一回ニ付

年額三百分ノ一ヲ又上海杭州線ニ於テハ一回ニ付年

額百二十分ノ一ヲ減スヘシ

第三條ノ船舶ヲ以テ第二條ニ記載スル各地間ヲ完全

ニ航行セス依テ航行里數ノ減縮シタルトキハ左ノ割

合ヲ以テ補助金ヲ減スヘシ

一 上海蘆州線 一海里ニ付 金四拾五錢

二 上海杭州線 一海里ニ付 金四拾五錢

第三條ノ船舶ヲ以テ第二條ニ記載スル各地以外ニ航

行シ航行里數ノ増加スルトアルモ之ニ對シ補助金

ヲ支給セス

第二十六條 其會社ハ本命令書ノ各線路ニ於ケル業務

ノ實況ヲ調査シ線路毎ニ収支ノ計算ヲ整理シ一年ニ

一回逓信大臣ニ具申スヘシ

第二十七條 其會社ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケヌシテ本

命令書ニ規定スル業務ヲ他人ニ讓渡シ若クハ下請負

ヲ為サシノ又ハ第三條ノ船舶ヲ賣渡貸渡交換贈與質

入書入スルコトヲ得ヌ

第二十八條 其會社ニ於テ第三條ニ定ムル航行ヲ缺キ

タルトキ若クハ同條ニ定ムル船舶ヲ使用セサルトキ

ハ第三條ニ定ムル船舶ヲ以テ同條ニ定ムル航行ヲ為

又此ノ間逋信大臣ハ一日ニ付拾圓以上百圓以下ノ違約金ヲ徴収スヘシ

其會社ニ於テ第四條ニ依リ修繕又ハ補充ヲ命セラルル場合ニ其命令期限内修繕若クハ補充ヲ為ササルトキハ逋信大臣ハ延滞日數一日ニ付拾圓以上百圓以下ノ違約金ヲ徴収スヘシ

第三十條 郵便物船積陸揚ノ命令ニ違反シタルトキハ一回毎ニ五圓以上五拾圓以下ノ違約金ヲ徴収スヘシ

又ハ延滞時間毎十二時間未滿ニ付五圓以上五拾圓以下ノ違約金ヲ徴収スヘシ

且天災其他抗拒ス一カヲサル強制ノ場合ハ此限ニテ

第三十一條 其會社ニ於テ逋信大臣ノ認可ヲ受ケズ正當ノ事由ナクシテ第三條ノ船舶ヲ以テ第二條ニ記載

レタル各地以外ニ航行シタルトキハ一回毎ニ五拾圓以内ノ違約金ヲ徴収スヘシ若シ第二條ニ記載シタル各地以外ニ航行シタル為メ第二十八條第一項又ハ第二十九條ニ該當スルニ至リタルトキハ該各條ノ違約金ヲ併セ徴収スヘシ

第三十二條 本命令書ニ於テ特ニ違約金ヲ付シタル場合ノ外各條ノ義務ヲ履行セサルトキハ一回ニ付五拾圓以内ノ違約金ヲ徴収スヘシ

第三十三條 第二十八條乃至第三十二條ノ違約金及第

十八條及第二十二條ニ依リ會社ノ支弁スヘキ金額ハ
毎回支給スル航行補助金又ハ保証金ヨリ差引若シ不
足アルトキハ其會社ヨリ徴収スヘシ

第三十四條 其會社ニ於テ第二十七條ニ違背シ若クハ
同一線路ニ於テ天災遭難其他抗拒スヘカラサル強制
ノ場合ヲ除キ一箇年十五回以上航行ヲ停止シタルト
キハ本命令書ヲ取消シ己ニ執行レタル航行ニ對スル
外第二十五條ニ掲グル航行補助金ノ交付ヲ停止シ且
保証金ヲ没収スヘシ
第三條ニ掲グル航行度数ノ半数以上第二十八條乃至
第三十二條ノ所為アリタルトキ亦前項ノ処分ヲ爲ス
コトアルヘシ

第三十五條 其會社ハ本命令書ニ定ムル義務履行ノ保

証トシテ各線路毎ニ左ノ割合ニ依リ通貨又ハ政府
公債証書ヲ以テ保証金ヲ提出スヘシ

- 一 上海蘇州線 金壹千八百圓
- 二 上海杭州線 金壹千貳百圓

前項ノ保証金第三十三條ニ依リ減額シタルトキハ一
箇月以内ニ於テ之ヲ補充スヘシ
前項ノ保証金ハ本命令書期限経過ノトキニ至リ本命
令書ノ規定ニ依リ差引シタル金額ヲ除キ其會社ニ還
付スヘシ

第三十六條 本命令書ノ有効期限ハ明治三十一年九月
一日ヨリ明治三十六年六月三十日マテ四箇年十箇月
間トス

附則

第三十七條 其會社ハ逋信大臣ノ認可ヲ受ケ明治三十一年十二月三十一日迄第三條ノ定ムル噸數以下ノ被克船ヲ使用スルコトヲ得

第三十八條 其會社ハ逋信大臣ノ認可ヲ受ケ明治三十二年六月三十日迄第三條ニ定ムル汽船モ隻被克船モ隻ヲ減スルコトヲ得

第三十九條 其會社ハ特ニ逋信大臣ノ認可ヲ受ケ明治三十二年十二月三十一日迄ヲ限リ第四條第二項ノ條件ヲ省略シ又ハ外國船ヲ使用スルコトヲ得

前項ニ依リ條件ヲ省略シタル場合ニ於テハ該期間内ニ支給スル航行補助金ハ第二十五條第一項ニ定ムル割合ニ從ヒ其期ノ支給金額ヨリ上海蕪州線ニ在テハ百分ノ七上海杭州線ニ在テハ百分ノ十二ヲ減スヘシ

明治三十一年七月九日

逋信大臣林有造

